

例年、7月に開催の総会にて、会員の皆様に活動状況等をご報告申し上げていますが、昨年に続いて新型コロナウイルス感染防止対策に鑑み開催を中止したため、ホームページにてご報告いたします。

### 1. 2020年度活動報告及び収支報告

K シニアの会員数は454名で、内訳は、メール連絡会員：270名、葉書連絡会員：184名です。昨年度より若干減少していますが、これは自然減に加えて、2018年度より参加資格を60歳から65歳に引き上げたため、新会員の参加が無いのが要因です。

グループ活動につきましては、コロナ禍のもと、活動を大幅に制限されていますが、

- a) 海友フォーラム 会員79名はコロナ対策のため「メール方式」で懇談会を施行・開催し、海事一般とその周辺の文化について、年3回の意見交換を行った。
- b) 保存グループ 収集された資料の整理、保存と、それらのデジタル造船資料館（D館）への掲載に努めた。更に、D館の整備を図った。学会本部事業、ふね遺産の各種資料の保存も継続して実施している。

の、上記2グループは活動を継続しており、

- c) 教育支援グループ 休会中
- d) シニアG会 休会中

は、活動を休止しています。

会計につきましては、総会・懇親会の開催中止により予算が執行できず、多額の剰余金が発生し、関西支部に返納しました。「2019年度 決算収支」を参照願います。

### 2. 2021年度活動計画及び予算

一般社会のコロナ禍からの脱却を期待して、本来の活動再開を予想していましたが、治まらぬ感染拡大と、迅速とはいえないワクチン接種の普及により、昨年同様の難しい活動となります。

予算は、従来通りの活動を予定して、受取会費：125,000円、事業収益：80,000円の合計205,000円で、すでに関西支部の承認を受けていますが、新型コロナウイルスの感染防止対策の影響を受け、既に総会・懇親会の中止が決定し、昨年同様の剰余金の発生が見込まれます。「2021年度予算収支」を参照ねがいます。

### 3. その他

2020年度、幹事会は、岩崎泰典、大柴隆士、岡田博雄、木村一馬、黒井昌明、杉山和雄、富田慎一、内藤林、仁科憲二、宝田雄次（会長）、増本徹の11名にて、年4回開催されました。

なお、岡田博雄幹事は本年度より、幹事を辞されました。長きにわたりご活躍有り難うございました。

## 2020年度 決算収支

	科 目	金額 (円)
収入	受取年会費（本部配分金）	125,000
	事業収益（総会・懇親会会合費）	0
	合 計	125,000
支出	旅費交通費	1,920
	通信運搬費	10,513
	消耗品費	1,242
	賃借料	0
	会合費	0
	会議費	5,250
	雑費	0
	合 計	18,925
	収支差額	106,075

## 2021年度 予算収支

	科 目	金額 (円)
収入	受取年会費（本部配分金）	125,000
	事業収益（総会・懇親会会合費）	80,000
	合 計	205,000
支出	旅費交通費	3,740
	通信運搬費	36,000
	消耗品費	2,100
	賃借料	73,000
	会合費	74,000
	会議費	14,700
	雑費	1,460
	合 計	205,000
	収支差額	0